

第三者住宅検査



第三者住宅検査機関

ホームリサーチ
Home Research

認定検査員が現場を検査



第三者の立場で検査

第三者検査のメリット！

■ 4重チェックで安心

工務店のチェック、第三者現場検査員のチェック、第三者写真検査員のチェック、最終検査員のチェック。

4重のチェック体制で建物の価値を高めます。

■ 検査記録が残るから安心

検査記録は全て専用サイトに引き渡し後10年間保管されます。

お客様はいつでも見ることができます。

万が一転売する場合、次のオーナーにも安心を引き継ぎます。

■ 第三者が雨漏り保証するから安心！（オプション）

雨漏りが発生しても、工務店とホームリサーチが一体となって保証します。（万が一工務店が倒産しても、ホームリサーチ指定の工務店が引き継ぎます）

※ライフライン（電気、ガス、水道）による雨漏りは保証対象外です。



累計 8 万棟の検査実績！

ホームリサーチは、検査だけを行うプロ集団として過去累計 8 万棟の検査を行ってきました。

一般的なローン返済期間（35年）、建物が基本構造を維持する為に、検査の視点で作り手・住まい手をお手伝いします。

合計 823 枚の検査写真！

検査箇所を全て写真で撮影します。

通常検査の場合、総枚数が 823 枚になります。

引き渡し後も保存され、建築当時の写真が確認でき安心です。



目で見て、手で触り、時には裏から覗いて…

問題点が隠れていないか？

ミスが隠れていないか？

忘れていないか？

安心出来る住まいのために、検査のプロが、厳しい目で様々な部分をチェックしています。

ウェブ表示サービス

検査で撮影された写真、検査内容、コメント、評価を専用ウェブページにて閲覧できます。

一部物件では、検査員の目線から撮影した動画も閲覧可能です。

「建てて良かった」をすべての人に…		Home Research
サンプル株式会社		
ユーザー 山田 太郎様	第01回 検査内容一覧	
販売会社 サンプル株式会社		
依頼選択 2013/12 ハイクラス棟A - 表示		
物件番号 建の指図書 2013/12/28		
建の指図書 2014/01/28		
その他		
現状の指摘・問題事項の有無		
第01回 問題点12件を含むチェック済み、その内12件が済み 善後済みです。		
第02回 チェック済み問題点はありません		
この物件は製本前最終		
	検査項目 1 基礎配筋時のチェック No.1.1.1	
	検査項目 1.1 H基礎の仕様及び形状の確認	
	撮影日 2013/12/26	
	評価 べた基礎(シングル配筋)	
	コメント べた基礎形状で設計図書通りの仕様、施工です。	
	検査項目 1 基礎配筋時のチェック No.1.1.2	
	検査項目 1.1 H基礎の仕様及び形状の確認	
	撮影日 2013/12/26	
	評価 べた基礎(シングル配筋)	
	コメント べた基礎形状で設計図書通りの仕様、施工です。	
	検査項目 1 基礎配筋時のチェック No.1.1.3	
	検査項目 1.1 H基礎の仕様及び形状の確認	

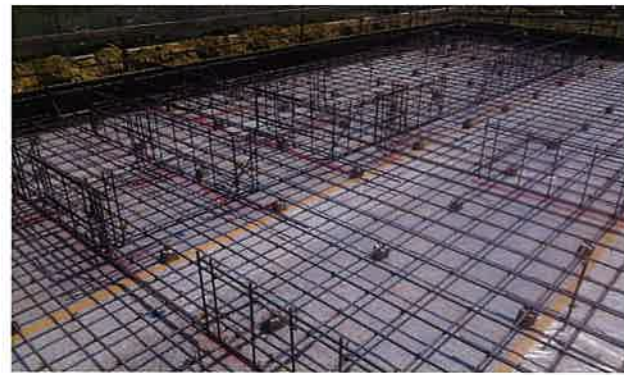
住宅検査報告書

全ての検査終了後、撮影した全ての写真を1冊の本としてまとめ、発行します。



検査内容

基礎配筋検査



鉄筋の規格、基礎配筋が適切に行われているかを確認します。

基礎出来型検査



基礎コンクリートの出来上がり状態を確認します。

土台伏せ検査



土台の施工状態や水平状態を確認します。

屋根ルーフィング検査



屋根防水下地が適切に行われているかを確認します。

緊結金物検査



金物の種類、取り付け位置、取り付け状態を確認します。

外部防水検査



壁防水シート、各部防水テープの圧着状態などを確認します。

断熱材検査



仕様書通りの断熱材が隙間なく施工されているかを確認します。

外装下地検査



外装の下地が適切に取り付けられているかを確認します。

内部造作検査



石膏ボードの留め付け状態やパテの施工状態を確認します。

完成検査



仕上がり、床鳴り表面のキズ・凹み建具、火災報知機などを確認します。

10回検査、5回検査が選べます。
必要に応じて追加できる
オプション検査もあります。

■10回検査・・・¥380,000

■5回検査・・・¥230,000

	配筋	出来型	土台	屋根	金物	防水	断熱	外装	造作	完成
10回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5回	●				●	●	●			●

■オプション検査・・・各¥35,000

- ・ベンチマーク検査
- ・放射能測定検査
- ・シュミットハンマー検査
- ・含水率検査
- ・騒音測定検査
- ・ホルムアルデヒド検査
- ・垂直水平検査
- ・屋根裏・床下検査

※表示価格はすべて税抜き価格です

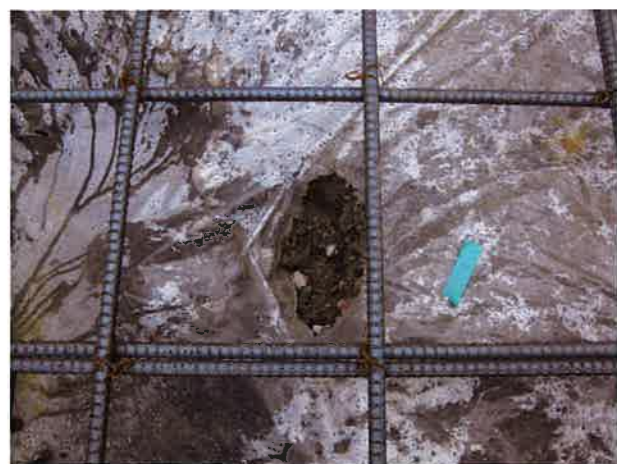
詳しい検査内容はホームリサーチの
ホームページをご確認ください。

<http://www.0120-123-707.com/>

検査事例

ここで紹介するのは、検査をしていなければそのまま見過ごされてしまったかもしれない不適切な施工例です。良い材料を使用しても施工が適切でなければ性能が発揮され

ません。たとえ建築基準法に違反していなくても、小さなミスが家の寿命を縮めます。



基礎のスラブ（基礎の床面）には、地面からの湿気対策として建物全体地面を防湿フィルムで覆います。このように穴が空いては湿気がコンクリートを通し床下または床上まで上がったり、シロアリが侵入したりします。



基礎出来型検査時にスラブ（基礎の床面）を撮影した写真です。よく見るとコンクリート表面にクラックが入っている箇所があります。コンクリート打設の際はクラックが発生しないよう配慮が必要となります。



左下の土台の端部にアンカーボルトが施工されていません。土台の端部はアンカーボルトで基礎と緊結するよう建築基準法に記載されています。アンカーボルトの設置箇所を十分チェックする必要があります。



屋根ルーフィング三面交点の止水処理が未施工の写真です。三点交点（特に出隅部）はピンホールが必ずできます。雨漏り危険ポイント箇所の一つです。防水テープなどでしっかり止水処理する必要があります。



厚さ 45 ミリ、幅 90 ミリのスジカキを使用するよう図面に記載されている建物なのですが、厚さ 45 ミリ、幅 85 ミリ程度の物が施工されています。設計図書と相違すると建物の強度が変わってしまい危険です。



通常上側の防水シートを後から重ねますが、この写真は下側の防水シートが被されています。この状態では防水シートの継目部分から雨水が浸入してしまいます。防水シートの重ね順序には、十分注意が必要です。



この物件の断熱材は、発泡ウレタンといわれる材料で、建築現場でウレタンの原料を吹き付け発泡させるものです。設計指示では 80 ミリのところ 60 ミリ程度しかなく、厚さが不足しています。



火打ち金物のボルトやナットは適切に施工されていますが、釘の打ち忘れがあります。このような金物はメーカーが指定した取付方法で施工をしないと規定の強度を発揮できない場合があります。たかが釘 1 本、されど釘 1 本。



白色のテープが貼られています。白色のテープは素晴らしい施工であることを示します。



緑色のテープが貼られています。緑色のテープは良好な施工であることを示します。



青色のテープが貼られています。青色のテープは一般的な施工であることを示します。



赤色のテープが貼られています。赤色のテープは問題点があることを示します。

4重のチェック体制で 安心と安全を提供！

＜工務店のチェック＞



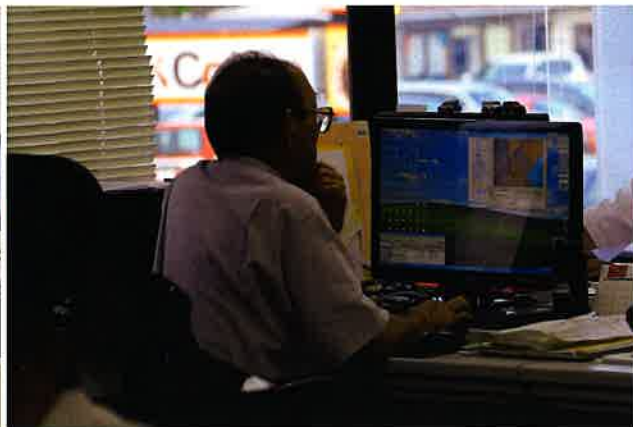
＜第三者現場検査員のチェック＞



＜第三者写真検査員のチェック＞



＜最終検査員のチェック＞



0120-123-707.com
株式会社ホームリサーチ

お問い合わせは、弊社 HP 内のメールフォーム、または info@homersearch.co.jp までお願いします。